

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		施設の裏の公園を利用してメリハリをつけている。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1		子どもの数により職員数は適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		トイレに手すりがないが、現状必要とする子がいない
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		朝礼、夕礼等、常時業務上の話し合いを実施し情報共有や改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2		業務改善の参考としている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	2		昨年度は、公開済みである。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	2	実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			県や市の研修に参加したり、自社で安全衛生委員会を設置しており、研修の機会を確保している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			保護者の方からの意向や、指導員の気付きを取り入れ、本人の発達も考慮し、課題を設定している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		利用契約の際に、法人共通のアセスメントシートを使用している。本人の発達を考えた支援ツールを毎日準備している
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			職員間で相談し、立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	1		様々な活動内容を日々変化させ、マンネリ化しないように実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2		地域の催事などに参加したり、子どもの将来に備え社会性を培えるようなプログラムにしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			特定の児童が問題がある行動をとった時の対応は、共通した態度で接している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1		設定された計画に変更や疑問点があれば再確認している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			必ず打ち合わせをし、その日に得た情報を共有したり、反省点などの話し合いをしている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			気になったこと等、日報や行動記録に残し、日々の反省と支援に繋げている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			定期的に個別支援計画書を作成し、子ども達の発達に合わせ適宜見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	1		子ども達の人格を形成する大切な時期でもあるため、社会性を身につけたり、遊びなどを通して自己肯定感が育まれるように支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			詳しいものが出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6			必要に応じて時間や、保護者や担任の先生などと連絡をとり、連絡調整を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6			必要に応じて主治医に子どもの様子を書面で報告している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6			必要に応じて確認をしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4		前例が殆どない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1		積極的に研修に参加している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	1		土曜日などを利用して2ヶ月に1度位の頻度で児童館等に出かけている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1		毎回参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			利用時に事業所の様子を保護者に伝えている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1		相談内容に応じてアドバイスなどの支援を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時に説明を行っている。その他、利用者負担額が変更になった場合や、問い合わせに対し丁寧な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			保護者の要望等や相談については、親身に対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			6	今年度は、保護者会の開催をしていない。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			迅速に対応を行っている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			年に数回会報を出し日々の様子を伝えている。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			十分注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			細かい子どもの心情面を伝えるようにし、保護者からの情報も得ている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	2		毎年開催されているセス合同絵画展のパンフレットを地元の支援学校、小中学校に出したり、地域の公民館や町内の掲示板に掲示し、地域住民の方々に声をかけたりしてお誘いしている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			6	災害の1次、2次、福祉避難地を保護者へおたよりで伝えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			毎月、避難訓練を行っている。
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			定期的に虐待防止チェックシートを用い、職員全員がチェックし虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		切迫性、非代替性、一時性、全て満たしている場合は、保護者に説明し、身体拘束の同意を得るルールとなっているが、実施したことは一度もない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6			職員二人体制で、食材のチェックシートを用い対応を行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			軽微なものも含め、ヒヤリハットを取りまとめ、職員で再発防止についての話し合いがもたれている。